

## 枚方物流センター&商品検査室見学

4月11日 都島北地域活動委員会(大阪市) 参加11名



すごい早いスピードで商品を選んで入れているねんあ!

▼商品検査室

都島北地域活動委員会では、「長年生協を利用して頂く、物流センターは見たことがないね」という声を耳にして、枚方物流センターと、同じ建物の中にある商品検査室の見学に行きました。参加者の中には、30年以上生協を利用されている方もおられました。

まず始めに、注文書の読み取り作業をしているOCRセンターから見学をスタート。数字の書き方やボールペンの使用などで、たくさんエラーが出ていることに驚きました。

続いて、商品の入荷検収の説明を聞きました。カタログに記載されている商品の情報がデータ化されていて、包材の写真や賞味期限などたくさん情報と照らし合わせて確認されています。最後は温度計で適正な温度帯で入荷しているかも確認されていました。

冷凍商品↓冷蔵商品↓常温商品の順番に仕分け作業を見てま



「注文書の数字いい加減に書いてたけど、今度からちゃんと消しゴムで消して書きます!」

「自分が注文しただけで、たくさんの方が関わって届くのを見て、生協って小さい単位と違ってたけど、一大事業で圧倒されました。みんなに見て欲しい!」という感想が参加者からでま

わり、農産加工エリアでは、野菜や果物を1品1品、重量や見た目がいいかなどを確認しながら加工していました。

商品検査室では、残留農薬検査や放射線検査等を独自で行なっています。参加者から「ホームページを見ると、『検出されません』『検出されませんが、実際どうなんですか?』との質問に、『実際に、ほんとにないです』という安心できる回答も聞けました。

「注文書の数字いい加減に書いてたけど、今度からちゃんと消しゴムで消して書きます!」

「自分が注文しただけで、たくさんの方が関わって届くのを見て、生協って小さい単位と違ってたけど、一大事業で圧倒されました。みんなに見て欲しい!」という感想が参加者からでま



1日約38,000枚のOCR注文書を3時間半で読み取っています

## 近江農産組合 見学

4月15日 小倉パル委員会(枚方市) 参加14名



「近江しぼり(大根浅漬)」の作業も見学。鹿児島県産(※)の青首大根を、1本1本手作業で皮をむいて縦半分に割り、下漬け用のコンテナにきれいに並べていました。※時期により旬の産地のものを使用



工場そばの農家さんの所では小さな白菜の苗が

契約産地で作った白菜浅漬150g(冷蔵) 次回企画: 6月3日



あっさり味の白菜ざみ浅漬。 ※白菜の産地は滋賀県、茨城県、長野県

生産地のことを知り、見学によって商品ができる様子を学ぼうと滋賀県東近江市にある近江農産組合を訪れた委員さんたち。中にはパルコープと取引が始まった30年前から定期的に産地訪問されている方もいて、「寄らせてもらうたびに工場の様子も変化して、大きくなっていくのが分かりますね」。案内してくれた高木さんは「その時は僕は小学生でしたわ」と歴史がうかがえる場面もありました。

工場内では、「白菜浅漬」の作業を見学。漬け込むまでに水洗いをし傷んだ葉や虫などを取り除きます。その後、小さくカット↓下漬け(1日間)↓塩気を抜くため水洗い↓袋詰め(調味液と一緒に)↓冷やし込み↓出荷。この工程の中でも何度も



近江農産・高木さん(左)は、組合長の息子で、家業を継ぐため、組合員さんの見学対応もされています

目視で異物がなにかチェックし選別。参加者から「手間がかかっているんですね」と、丁寧な作業に納得の様子でした。

お昼には4種類の漬物と地元のお米「秋の詩」のおにぎりを食べながら交流。その後、近くの契約農家さんの軒先で、これから植える白菜の苗を見たり、畑を見たりしました。

「作業員さんたちの手際がよいので感心させられた」畑の見学もでき、有機肥料が使われていることや虫除け対策など知れてよかったと感想あり、新しい発見もあった一日になりました。

白菜のチェックと選別



## 五月の節句にむけて ~かぶと・こいのぼりを作ろう~

3月29日 住之江地域活動委員会(大阪市) 住之江組合員集会所 参加21名(うち子ども6名)



親子で手芸をしたり、お茶をしながら生協のこともっと知ってもらおうとパルの集いを開きました。今回は桃の節句でひなまつりの手芸をしました。かぶと・こいのぼりというので、色紙にそれぞれのパーツを見本を見ながら「こいでいいかな?」「こつちかな?」とペタペタ貼っていきます。でき上がると「できた!」「おうちに飾ろう」と子どもたちも満足気。完成後はみんなで生協のパンやサンドイッチを食べながらゆつくりお茶会を開きました。その中で、カタログを見ながら「これおいしいよね」とお気に入り商品についてお話ししたり、若い組合員さんにも生協の活動を知ってもらおうと、地域で行なっている活動を紹介したりしました。「こうして参加するのも楽しいけど、工場見学など自分で企画する側になってみるのも楽しいですよ!」。

親子で楽しく、年代関係なく、和気あいあいとした会になりました。

みて・みて~♪



完成~♡



## 遺品整理(生前整理)学習会

3月16日 寝屋川西香里地域活動委員会(寝屋川市) 寝屋川市立東北コミュニティセンター 参加29名

参加者の感想

親の遺品整理の参考に、なればと参加しましたが、自分のこれからの生き方、どう生きなければいけないか、考えるよい機会になりました。



講師の(株)リリーフ鈴木さん

実家の片づけをどこから手をつけてよいかアドバイスや心得、一軒家だと2トラック5台分の物があるとか業者にたのむといくらかかるか、知ったことがありとても参考になりました。

元気な間に整理するというお話を聞き、少しずつ生前整理をしようと思いました。

もしもの時に、家族が一番困るといわれている遺品(生前)整理、実家の片付けにおいてポイントを知るため学習会を開催。講師には、「ぼるむ」提携業者の(株)リリーフおかたづけ事業部・鈴木太郎さんを招き、お話ししてもらいました。

遺品整理は、協力できる方(兄弟など)がいないと、約20%の方が1年以上の時間を費やしています。処分にも困る物では、家族人数の適正量を超える大量の衣類、食器類、大きな仏壇や家具、医療品の処分、ペットなど。生前、元気がうちに片付けをしておく事が大切です。

整理する事で家の中で事故を防ぐ事にもつながります(65歳以上の家庭内で

の不慮の事故死が交通事故の約2倍も発生)。

生前整理では、「毎日少しずつ、完璧を目指さない」といったアドバイスもありました。生前にモノを減らして、広々と安全に生活できる環境をつくり、「大切な事は、元気な間に行方を決めておく」など、学習することができました。

